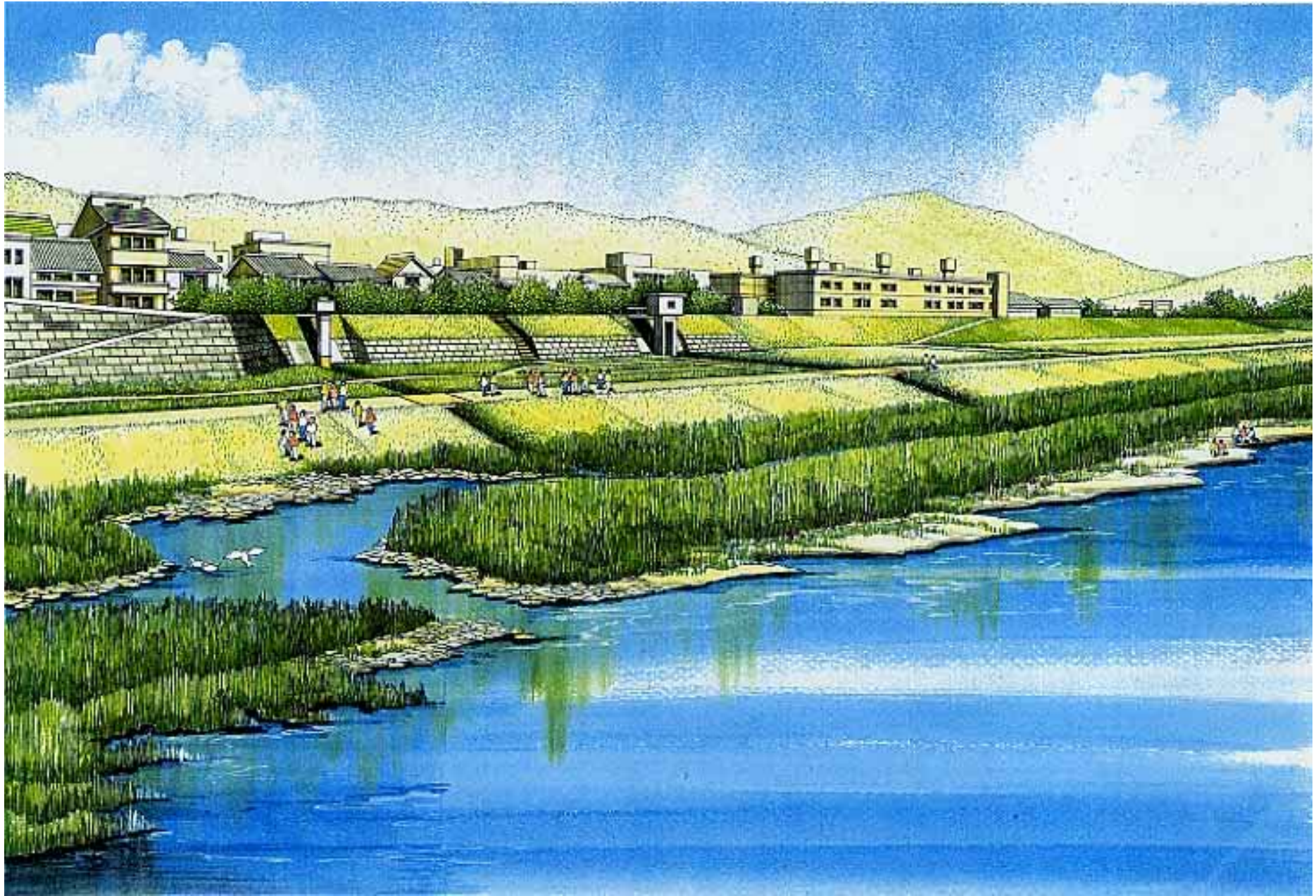


紀の川に
関わる催し
吉野川花火大会



水辺の楽校



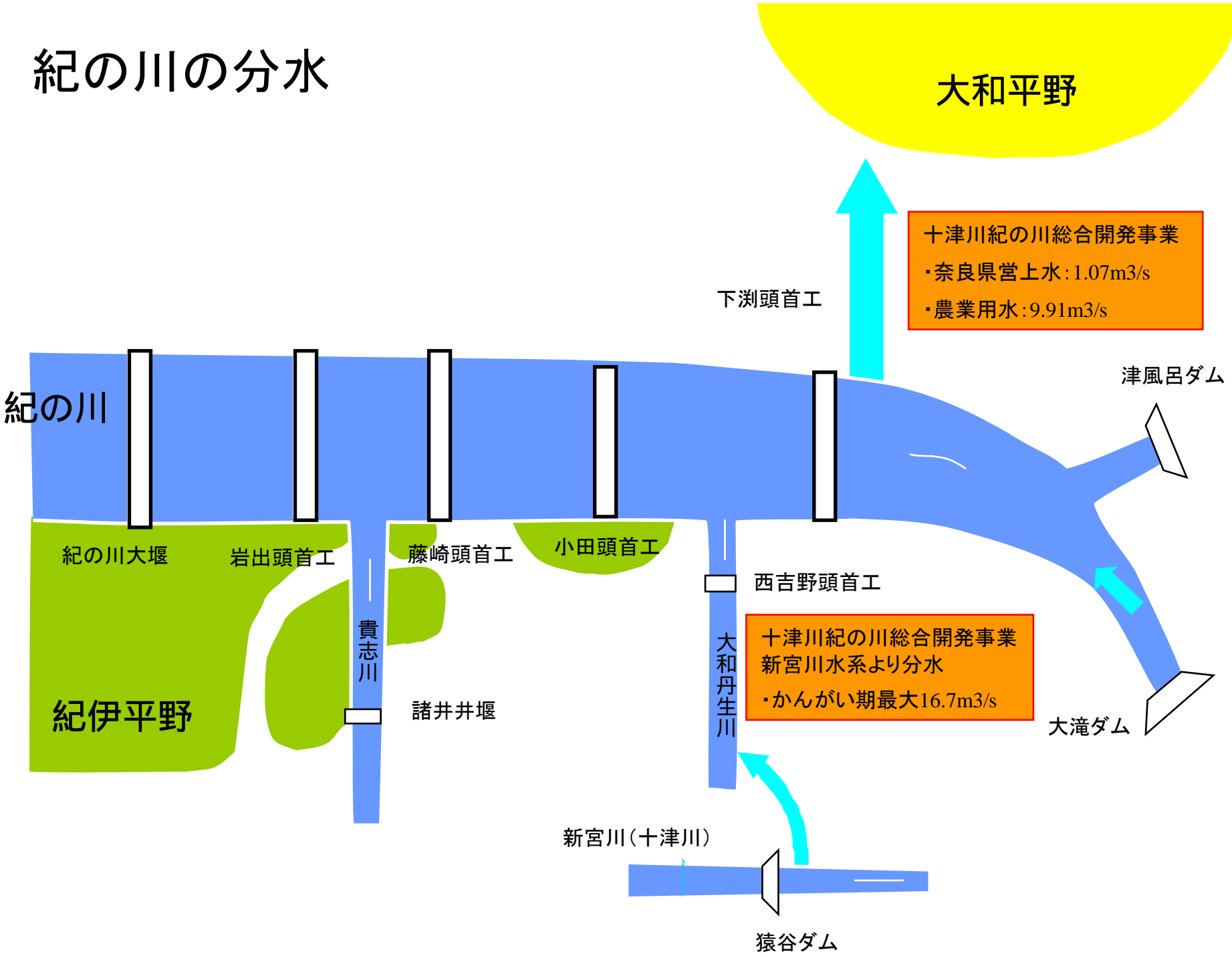
十津川・紀の川総合開発

大和平野は周辺の山が浅く、雨が少ないことから昔から水不足に悩まされました。そのため、吉野川(紀の川)から水を引くという発想は1700年頃からありましたが、下流からの抵抗が激しく実現しませんでした。

その後、第2次世界大戦後の国の復興対策として、1949年(昭和24年)ようやく、十津川・紀の川総合開発事業としてスタートしました。



紀の川の分水



大和平野

十津川紀の川総合開発事業

- ・奈良県営上水: 1.07m³/s
- ・農業用水: 9.91m³/s

下湊頭首工

紀の川

津風呂ダム

紀の川大堰

岩出頭首工

藤崎頭首工

小田頭首工

西吉野頭首工

紀伊平野

貴志川

諸井井堰

大和丹生川

十津川紀の川総合開発事業
新宮川水系より分水
・かんがい期最大16.7m³/s

大滝ダム

新宮川(十津川)

猿谷ダム